

第1回益城町立幼稚園・保育所あり方検討委員会（会議要旨）

日時 令和3年（2021年）8月10日（火）10:00～11:40

場所 益城町役場 仮設庁舎本館2階 応接室

出席者 西村博則町長（途中退席）

委員：稲田忠則委員、吉村建文委員、中村健二委員、今吉光弘委員、井寺美穂委員

森田恭子委員、大庭洋平委員、糸数典子委員、大杉つかさ委員

津田美保委員、渡邊倫子委員、中路順子委員、宮尾香純委員

事務局：こども未来課 水口清課長、村上千恵係長、松本拓主査

書記：総務課 福住聡志主査

欠席者 宮本麻紀委員

〈次第〉

1. 開会

2. 町長挨拶

・新型コロナウイルスの感染拡大防止により会議や事業が縮小または延期となっているが、この検討委員会は、今後の益城町の町立幼稚園と保育所の運営方針を決めるうえで重要であると考え、新型コロナウイルスの感染症対策を講じて、開催させていただいた。

・益城町は、平成28年熊本地震からの復興を急速に進めており、人口も33,000人を超え震災前の人口に近づきつつある。しかしながら、児童数については、少子化のあおりを受け、減少しており、共働き世帯の増加と令和元年10月に開始された幼児教育・保育の無償化の影響で、幼稚園の利用者は年々減少している。

・町立幼稚園においても、例外ではなく、減少傾向にあり、令和3年度には定員の半数程度の園児数になっている。町立保育所についても、待機児童が発生しているにもかかわらず、保育士を確保できないため、定員に満たない受入れ状況が続いている。

・以上のことを踏まえ、また、それぞれの建物の老朽化も進んでいることから、町立幼稚園と保育所のあり方を検討しなければならない状況となっている。今回、本委員会にはまずは、町立幼稚園の現在の状況を踏まえ、統廃合も含めたうえで、町立幼稚園のあり方を検討していただきたい。

3. 委員自己紹介

4. 会長の選任

- 委員）事務局に一任でお願いしたい。
- 事務局）本町の子ども・子育て会議の会長でもあった今吉委員にお願いしたい。
- 全委員）異議なし。

⇒ **今吉光弘委員が会長に選任**

5. 会長あいさつ

- 会長）子ども・子育て会議でも会長をさせていただいた。今回の委員会においても、皆様方の意見をいただきながら、委員会をまとめていきたいと思う。皆様方の協力をお願いしたい。

6. 諮問書の交付

⇒ **西村博則町長から今吉光弘会長に諮問書の交付**

（西村博則町長退席）

7. 議事の公開について

- 事務局) 「町審議会等の会議及び会議録の公開に関する実施基準」によれば、原則、会議を公開することになっているが、新型コロナウイルス感染症対策として、本日は、非公開とした。新型コロナウイルスの蔓延状況次第で、公開の可否は判断したい。なお、会議録については、会議要旨という形で公表したい。
- 全委員) 異議なし。

8. 議事

(1) 益城町立幼稚園あり方検討について

- 事務局) 資料 1「益城町立幼稚園あり方検討」の内容を説明。財源不足の状況を鑑みると、2園ある町立幼稚園を1園に統廃合することも含め、検討を行う必要がある。
- 委員) 現在の第二幼稚園への登園は、「自家用車」、「自転車」、「徒歩」の手段である。益城幼稚園に第二幼稚園を統合した場合、「自転車」や「徒歩」で園を利用されていた方は、スクールバス利用になると思う。益城幼稚園では現在3コース走らせている関係で、園児が全員そろって保育活動を始めるのは午前10時からになる。現在のスクールバスの状況だと統合してからの十分な保育活動の時間の確保は困難になるため、バスを増やす必要がある。財政難で端的に考えると統合となるかと思うが、子どもたちの育ち、幼児教育を考えると統合すべきではないのではないかと思う。受け持ち人数が20人から30人になると、保育をできなくはないが目が届きにくくなる。特別教育のこともあるし、療養に通う子もいる。単純に統合できるといった人数計算だけではなく、子どもの育ちの面も考慮していただきたい。
- 委員) 第二幼稚園がどのような取組みを行っているか紹介したい。委員の皆様にも、幼稚園が必要であることを認識いただきたい。広安校区から益城幼稚園に41の方がスクールバスで通っている。郡内で町立幼稚園が残っているのは益城町だけだからこそ残していく必要があると思う。
 - 会長) 益城幼稚園に41の方が広安校区から来ているのはバスによる送迎があるからか？
 - 委員) 以前は、町立幼稚園の申込件数が多く、抽選により、受入れを行う園児を決定していた。第二幼稚園を希望して抽選となり、落選した方が益城幼稚園を利用している場合があり、その兄弟の方が引き続き益城幼稚園を利用されていると思われる。
- 委員) 資料の説明を聞いて財政難ということはよく理解できた。しかし、資料を見ると、統合や民間移行ありきに思える。幼児教育は人格形成でとても重要なもの。教育は長い目で見る必要がある。幼児教育の大切さをわかっていたいただきたいという思い。
 - 会長) 児童問題としてどのようなものがあるか？
 - 委員) ボーダーラインの子どもたちがものすごく多い。社会の流れでお母さんたちが仕事を優先に考えていることも一因かと思う。療養に通う子どもの数も年々増えている。
 - 会長) 以前、子ども・子育て会議の際にアンケートを取った際、子育てに関する相談先は行政よりも自分の身内、家族との意見が多かった。幼児教育だけでそのような問題が解決するものではないと思える。
- 委員) 資料1の4ページについて。5年でかなりの数が幼稚園から保育所に流れている。この5年間で保育所が大きく増えたのか。
 - 事務局) 平成27年度から私立保育園が1園ずつ開園していき、現在、私立の認可保育所は7園となった。そのうち、定員100名の園は6園で、1園が45名となっている。また、0歳～2歳児の受け皿として、地域型保育事業所も平成27年から増えた。この分が、平成25年度から平成30年度までの5年度間で大きく変化しているため、こ

のような状況になった一因ではないかと考える。

- 委員) なぜ公立がなければいけないのか。私立が増えているのであれば、公立だからこそできるサービス内容を打ち出していけないといけない。定員を満たすために何をしているのか。入園者をどう増やせばよいか等、何か対策を講じているのか？
- 委員) 地震前に無料のお預かり保育を実施し、入園者も増えていた。しかし、保育無償化や幼稚園の弁当持参も影響し、減少しているように思う。現在、令和3年10月くらいから業者からの弁当導入を検討している。他にも対策を検討したいが、ぜひご意見等いただけるとありがたい。夏休み中は1日1000円(役場からの補助除いて550円)負担で預かり保育を実施中。10名前後を受け入れているが、保育園があっても、第二幼稚園を選ばれるということは、第二幼稚園の教育を認めていただけているものと考えている。
- 会長) 保護者の立場からご意見あるか。
- 委員) 弁当の件は保護者の皆さんはよく言われる。毎日、弁当を持参させる負担は大きい。そこが改善するだけでも園児数は伸びるのではないと思う。
- 委員) 子どもは親が作ったおにぎり一つでも喜ぶ。しかし、ちょっとした余裕は必要であり、弁当導入というのは良い案だと思う。幼稚園では自問自答して育てる教育を実施している。そのため時間を要する。子育てがしやすい、という方針を掲げる町であればその点は重要ではないかと考える。私立幼稚園や保育園はどうしても念頭に「経営」というものがあるため、時間の保証ができない。時間の保証ができるという点では公立幼稚園や保育園は必要だと思う。
- 委員) 資料1の8ページの中にある「大規模改修の更新費用」の掲載はどういう意味か。
 - 事務局) 令和2年3月に改訂した「町公共施設等総合管理計画」の中で、施設の耐用年数を60年と設定している。この年数は一種の目安であり、60年おきに建物の建替えを検討するというもの。大規模改修は目安として建築後30年で行うものと位置付けており、仮に益城幼稚園と第二幼稚園で大規模改修を実施した場合、単価17万円/m²を建物面積に乗じると、提示した大規模改修費用がかかるということを意味している。
- 会長) 幼稚園、保育園を経験している先生からご意見いただきたい。
 - 委員) 幼稚園と保育園では、雰囲気も違う。ご両親が仕事をされている方、されていない方でも違う。保育園を見学に来る方が年々増えているように思える。そこでパートの方であれば保育時間的に、幼稚園の利用も可能であるため、町立幼稚園のことも紹介する。幼稚園は私立の場合、ひと月に購入するものが多いという話を聞く。そのような面では公立がよいかと思う。夏休みに預かり保育をしており、町の補助があることについても知らない方もいる。もっとアピールした方がよいと思う。
 - 委員) 私が幼稚園にいたころにも、給食の話が出たが、問題が発生し、実施できなかった。毎週水曜日のおにぎりの日は残った。バスの利用に関しては、距離制限等、一定の利用基準を決めてもいいではないかと思った。
- 委員) 幼稚園の教育があるから、自尊感情が育むという話があったが、保育園であっても自尊感情がなくなるということはないと思う。保護者から保育園の先生を見た感じで何か不都合はあるか。
 - 事務局) 不都合は特にない。
 - 委員) 待機児童は現在、何人くらい発生しているのか？
 - 事務局) 4月1日現在で、町の待機児童は5人である。ただし、保育所に入れなかった人数は、33人である。
- 委員) 委員の皆様から貴重な意見をいただいた。資料に基づき事務局から説明があった

が、事実に基づき用意したもので、統廃合ありきのものではないと認識している。以前、近隣の菊陽町、大津町でも同様の議論があった。益城町としても、今回検討委員会が設立され、皆さんから様々な意見をお聞きしながら、議会にもおつなぎしながら、このような場で発言させていただきたい。保育園の保護者の皆様が幼稚園で預かり保育のようなサービスを知らないという話があったが、このような情報はぜひ、発信していただきたい。また、企業型保育園も増えており、今も話がある。定住促進をしながら、町外から若い方に来ていただく。また、広崎の高速西側に 180 区画の住宅地が整備予定であり、来年度には家が建ってくる。そういった受け皿の確保につなげていくべきだと思う。

➤ 会長) 今回の委員会への議員 3 名の参画は町の本気度のあらわれだと思う。

(2) 在園児保護者へのアンケートについて

- 事務局) 資料 2「保護者アンケート」の内容と初見であることから、第二回検討委員会の中で、具体的な意見を賜りたい。
- 会長) 次回の議論とのことだが、現時点で何かご意見あれば提案いただきたい。
- 委員) 設問 5 で、「2 園を統合した場合」とあるが、どちらに統合するかで回答が変わるかと思う。もう少し具体的に記入するべきだと思う。
- 会長) 設問 2 で、「保育方針がよかったから」という選択肢があるが、幼稚園のことを聞いているので、「教育方針がよかったから」と保護者目線で記載するべきだと思う。
- 委員) アンケートを行う際に、2 園を 1 園に統合することを「賛成」か、「反対」かを最初に尋ねるべきではないか。また、バスの利用希望についても尋ねるべき。
- 委員) 益城幼稚園か、第二幼稚園か、新しい場所に新たな施設を建設し、統合するかということは尋ねるべきではないか。部屋数が足りない場合は改装も必要になる。
- 会長) 保護者以外の方の意見は必要ないか。
 - 事務局) パブリックコメントを実施予定としており、保護者以外の方の意見はその時に聞きたいと考えている。
 - 会長) パブリックコメントは意見が出てこないのか、効果があるのか、不透明だと思う。
- 会長) P 3 の設問 4 の中に出てくる「介護」という文言に違和感がある。
 - 事務局) 家庭状況の区分については、保育所の申込時の区分を準用させていただいたところ。表現について、再考させていただきたい。

(3) 今後のスケジュール等について

- 事務局) 資料 3「スケジュール案」の内容を説明。
- 会長) 第 2 回は議会終了後、9 月下旬の 10 時から 2 時間程度の会合を予定したい。
 - 事務局) 9 月 28、29 日あたりで調整したい。
 - 全委員) 28、29 日の調整は全員不可。30 日なら、可能。
 - 会長) 9 月 30 日(木)の午前中で調整したい。

9. その他

- 事務局) 次回は 9 月 30 日(木)に実施させていただく。場所は通知文で改めてお知らせする。なお、新型コロナウイルスの蔓延状況次第では、延期もあり得るので、その際は、改めて連絡する。また、会議資料は開催 1 週間前には事前にお送りさせていただきたい。

10.閉会